

教えて!

富山 けいざい



ESG投資って?

◆社会貢献型投資／国内市場の育成課題

難しい経済用語にも関心を持ち始めたブン子さん。北陸経済研究所（富山市）の須河孝一常務理事に聞いてみました。

Q－どんな投資かな。

A－環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の頭文字を取ったもので、これらの分野に積極的に取り組む企業を選んで投資すること、またその考え方を指します。

例えば、CO₂（二酸化炭素）排出量削減などの環境（E）や、女性の社会進出支援などの社会（S）、社外取締役の採用などのガバナンス（G）にそれぞれ配慮した経営をしている企業が対象です。社会貢献型投資として、日本だけでなく世界各国が力を入れており、投資残高は約2200兆円に上るとされています。



Q－一般の投資との違いは。

A－投資家は通常、企業価値を計るために、利益の大きさやキャッシュフローなどの財務情報を基に投資先を検証します。ESG投資では財務情報に加えて、非財務情報であるESGの要素を加味し、長期的に企業価値を高める取り組みをしていけば、結果としてのリターン（収益）も大きくなると判断するのです。

Q－日本でも運用は拡大しているの。

A－運用資産に占めるESG投資比率は2016年の数値では、欧州52・6%、米国21・6%に対し、日本は3・4%です。今後の拡大が期待されます。

世界最大級の機関投資家で、公的年金運用機関である年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が17年に3兆円のESG投資をすると発表しました。18年度末には資産残高は3兆5千億円に達しました。

県内では富山市や朝日町が、国際協力機構（JICA）が発行する社会貢献債に投資しています。ただ日本では投資対象となる債券や株式が少なく、市場の育成が課題となっています。